

2019年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)



2019年8月7日

上場会社名 株式会社NATTY SWANKY 上場取引所 東  
 コード番号 7674 URL http://nattyswanky.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井石裕二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 金子正輝 (TEL) 03-5909-3013  
 定時株主総会開催予定日 2019年9月26日 配当支払開始予定日 2019年9月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年9月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期の業績(2018年7月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	3,983	35.5	316	88.1	297	88.5	218	95.3
2018年6月期	2,939	—	168	—	157	—	112	—

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年6月期	126.24	119.52	20.6	10.5	7.9
2018年6月期	69.67	—	76.4	11.4	5.7

(参考) 持分法投資損益 2019年6月期 百万円 2018年6月期 百万円

- (注) 1 当社は、2018年5月2日付で普通株式1株につき100株、2018年11月20日付で普通株式1株につき60株の割合で株式分割を行っておりますが、2018年6月期の期首に行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
- 2 2018年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
- 3 当社は2019年3月28日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2019年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2019年6月期末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	4,014	1,922	47.9	912.38
2018年6月期	1,660	202	12.2	126.01

(参考) 自己資本 2019年6月期 1,922百万円 2018年6月期 202百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年6月期	512	△496	1,870	2,339
2018年6月期	271	△399	273	453

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2019年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00	31	11.9	2.9
2020年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1 2019年6月期期末配当金の内訳 記念配当 5円00銭 普通配当 10円00銭

- 2 当社は定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では配当予想額は未定であります。

3. 2020年6月期の業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,400	27.3	185	36.7	185	37.7	130	34.6	61.70
通期	5,000	25.5	430	35.8	410	38.0	300	37.1	142.39

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年6月期	2,106,900 株	2018年6月期	1,608,000 株
2019年6月期	— 株	2018年6月期	— 株
2019年6月期	1,732,942 株	2018年6月期	1,608,000 株

(注) 当社は、2018年5月2日付で普通株式1株につき100株、2018年11月20日付で普通株式1株につき60株の割合で株式分割を行っておりますが、2018年6月期の期首に行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2019年8月8日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会をする予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、2019年8月7日に当社ウェブサイトに掲載いたします。説明会の模様及び説明内容（動画）については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(持分法損益等) .....	9
(1株当たり情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善を背景に、緩やかな回復基調にあるものの、米国政権の動向などによる世界経済の不確実性から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、業界全体として緩やかな回復基調にあるものの、継続的な採用難・パートアルバイトの時給の上昇に加え、働き方改革や人手不足などを背景とした人件費関連コストの上昇、企業間競争の激化など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社では「街に永く愛される、粋で鯛背な店づくり～期待以上が当たり前、それが我らの心意気～」の経営理念を達成すべく、一人でも多くの街の人々に末永く愛され続ける店を目指して日々邁進して参りました。

当事業年度は、直営店17店舗（フランチャイズ店から直営店への変更1店舗含む）及びフランチャイズ店2店舗（直営店からフランチャイズ店への変更1店舗含む）の新規出店を行い、2019年6月末の店舗数は直営店58店舗、フランチャイズ店18店舗となった結果、売上高は3,983,045千円（前事業年度比35.5%増）となりました。

売上原価は売上高の増加に伴い、1,200,826千円（前事業年度比34.5%増）となり、売上高に対する構成比率は原材料価格の低減に努めた結果30.1%（同0.2%減）となりました。

販売費及び一般管理費についても、当期新規出店による人件費、地代家賃及び減価償却費の増加及び、来期出店予定店舗取得に係る採用人件費・消耗品等の増加に伴い、2,465,692千円（同31.3%増）となりました。

以上の結果、当事業年度における当社の業績は、売上高3,983,045千円（前事業年度比35.5%増）、営業利益316,525千円（同88.1%増）、経常利益297,192千円（同88.5%増）、当期純利益218,774千円（同95.3%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べ2,353,650千円増加し、4,014,460千円となりました。これは、流動資産が1,916,965千円増加し2,538,322千円となったこと及び固定資産が436,684千円増加し1,476,138千円となったことによるものであります。

流動資産の主な増加は、新規上場による公募増資や当事業年度の収益計上に伴う現金及び預金の増加1,886,185千円によるものであります。

固定資産の主な増加は、新規店舗のオープンに伴う有形固定資産の増加340,821千円及び差入保証金の増加61,540千円によるものであります。

一方、負債については、前事業年度に比べ633,984千円増加し、2,092,160千円となりました。これは、流動負債が360,204千円増加し1,051,391千円となったこと及び固定負債が273,780千円増加し1,040,768千円となったことによるものであります。

流動負債の主な増加は、新規店舗設備資金として借入れた1年内返済予定の長期借入金の増加125,333千円、新規出店の増加等に伴う未払金の増加36,274千円及び人件費の増加等に伴う未払費用の増加24,482千円によるものであります。

固定負債の主な増加は、新規店舗設備資金として借入れた長期借入金の増加250,213千円によるものであります。

純資産については、新規上場による公募増資に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ750,445千円増加したこと、及び当期純利益を計上したことで利益剰余金が218,774千円増加したことにより、1,922,299千円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前事業年度に比べ1,885,684千円増加し、2,339,315千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の営業活動により増加した資金は512,618千円(前事業年度は271,252千円の増加)であります。主な増減の内訳は、法人税等の支払額63,682千円及び前払費用の増加額17,162千円等の減少要因に対し、税引前当期純利益303,207千円、減価償却費98,486千円及び仕入債務の増加額39,868千円等の増加要因によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の投資活動により減少した資金は496,979千円(前事業年度は399,542千円の減少)であります。主な増減の内訳は、店舗売却による収入20,820千円等の増加要因に対し、有形固定資産の取得による支出403,587千円、敷金及び保証金の差入による支出72,388千円及び長期前払費用の取得による支出45,453千円等の減少要因によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の財務活動により増加した資金は1,870,045千円(前事業年度は273,518千円の増加)であります。増減の内訳は、長期借入金の返済による支出273,453千円等の減少要因に対し、株式の発行による収入1,500,890千円及び長期借入れによる収入649,000千円の増加要因によるものであります。

### (4) 今後の見通し

2020年6月期の見通しにつきましては、積極的な新規出店・採用活動を行うとともに、店舗収益力の維持向上を図り、街に永く愛される粋で鱈背な店舗を展開する事を計画しております。

新規出店におきましては、直営店15店舗・フランチャイズ店5店舗の出店を予定しております。

また、商品クオリティや接客サービスの維持・向上を核とした他社との差別化を図ることによる既存店の収益向上、人材採用・教育の強化、より一層の衛生管理・品質管理の強化徹底にも取り組んでまいります。

上記の結果、2020年6月期の業績予想は、売上高5,000百万円(前年同期比25.5%)、営業利益430百万円(前年同期比35.8%)、経常利益410百万円(前年同期比38.0%)、当期純利益300百万円(前年同期比37.1%)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本国内で事業展開を行っていること、また国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当事業年度 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	466,434	2,352,619
売掛金	26,186	20,908
商品及び製品	13,800	21,125
原材料及び貯蔵品	5,503	3,366
前払費用	76,544	101,581
その他	32,885	38,720
流動資産合計	621,356	2,538,322
固定資産		
有形固定資産		
建物	813,488	1,180,016
減価償却累計額及び減損損失累計額	△168,910	△218,515
建物(純額)	644,578	961,501
工具、器具及び備品	118,999	179,853
減価償却累計額及び減損損失累計額	△56,819	△87,857
工具、器具及び備品(純額)	62,179	91,995
リース資産	29,592	29,592
減価償却累計額	△16,253	△22,171
リース資産(純額)	13,338	7,420
有形固定資産合計	720,096	1,060,917
無形固定資産		
ソフトウェア	375	3,880
無形固定資産合計	375	3,880
投資その他の資産		
出資金	20	20
破産更生債権等	3,084	2,833
長期前払費用	43,785	53,061
差入保証金	237,857	299,398
繰延税金資産	37,319	58,860
貸倒引当金	△3,084	△2,833
投資その他の資産合計	318,981	411,340
固定資産合計	1,039,453	1,476,138
資産合計	1,660,810	4,014,460

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当事業年度 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	103,239	143,107
1年内返済予定の長期借入金	263,343	388,676
リース債務	6,391	5,067
未払金	91,725	128,000
未払費用	103,455	127,938
未払法人税等	32,150	118,158
未払消費税等	33,299	54,758
前受金	1,263	1,476
預り金	33,719	45,778
前受収益	22,399	38,418
その他	200	12
流動負債合計	691,187	1,051,391
固定負債		
長期借入金	724,741	974,954
リース債務	8,014	2,946
その他	34,232	62,867
固定負債合計	766,988	1,040,768
負債合計	1,458,175	2,092,160
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,400	763,845
資本剰余金		
資本準備金	—	750,445
資本剰余金合計	—	750,445
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	189,234	408,009
利益剰余金合計	189,234	408,009
株主資本合計	202,634	1,922,299
純資産合計	202,634	1,922,299
負債純資産合計	1,660,810	4,014,460



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,939,472	3,983,045
売上原価		
商品及び製品期首たな卸高	10,905	13,800
当期商品仕入高	806,382	1,106,200
当期製品製造原価	89,173	101,950
合計	906,461	1,221,952
商品及び製品期末たな卸高	13,800	21,125
売上原価合計	892,660	1,200,826
売上総利益	2,046,812	2,782,218
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	398,888	471,673
雑給	418,163	614,070
地代家賃	342,877	452,046
減価償却費	63,373	90,827
その他	655,195	837,073
販売費及び一般管理費合計	1,878,498	2,465,692
営業利益	168,314	316,525
営業外収益		
受取手数料	164	—
受取保険料	846	—
助成金収入	—	5,130
その他	303	2,845
営業外収益合計	1,315	7,975
営業外費用		
上場関連費用	—	14,939
支払利息	8,942	9,025
貸倒引当金繰入額	1,497	—
その他	1,564	3,343
営業外費用合計	12,004	27,308
経常利益	157,624	297,192
特別利益		
店舗売却益	—	6,014
特別利益合計	—	6,014
特別損失		
固定資産除却損	876	—
減損損失	3,937	—
盗難損失	1,373	—
特別損失合計	6,187	—
税引前当期純利益	151,437	303,207
法人税、住民税及び事業税	49,922	105,974
法人税等調整額	△10,528	△21,541
法人税等合計	39,394	84,432
当期純利益	112,043	218,774

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
当期首残高	13,400	77,191	77,191	90,591	90,591
当期変動額					
新株の発行				—	—
当期純利益		112,043	112,043	112,043	112,043
当期変動額合計	—	112,043	112,043	112,043	112,043
当期末残高	13,400	189,234	189,234	202,634	202,634

当事業年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
				繰越利益剰余金			
当期首残高	13,400	—	—	189,234	189,234	202,634	202,634
当期変動額							
新株の発行	750,445	750,445	750,445			1,500,890	1,500,890
当期純利益				218,774	218,774	218,774	218,774
当期変動額合計	750,445	750,445	750,445	218,774	218,774	1,719,665	1,719,665
当期末残高	763,845	750,445	750,445	408,009	408,009	1,922,299	1,922,299

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	151,437	303,207
減価償却費	71,263	98,486
長期前払費用償却額	16,805	26,460
店舗売却益	—	△6,014
減損損失	3,937	—
固定資産除却損	876	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,497	△250
支払利息	8,942	9,025
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,554	5,278
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,470	△5,186
前払費用の増減額 (△は増加)	△15,882	△17,162
仕入債務の増減額 (△は減少)	32,326	39,868
未払金の増減額 (△は減少)	15,305	△7,517
未払費用の増減額 (△は減少)	36,150	24,570
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	—	28,879
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,236	21,458
預り金の増減額 (△は減少)	15,708	12,058
前受収益の増減額 (△は減少)	△302	16,018
長期前受収益の増減額 (△は減少)	△1,533	26,330
その他	△16,876	9,892
小計	313,869	585,403
利息及び配当金の受取額	4	6
利息の支払額	△8,476	△9,108
法人税等の支払額	△34,145	△63,682
営業活動によるキャッシュ・フロー	271,252	512,618
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△13,703	△14,404
定期預金の払戻による収入	12,702	13,903
有形固定資産の取得による支出	△274,961	△403,587
長期前払費用の取得による支出	△45,748	△45,453
敷金及び保証金の差入による支出	△80,042	△72,388
預り保証金の受入による収入	2,850	4,000
店舗売却による収入	—	20,820
その他	△639	130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△399,542	△496,979
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	658,000	649,000
長期借入金の返済による支出	△378,090	△273,453
リース債務の返済による支出	△6,391	△6,391
株式の発行による収入	—	1,500,890
財務活動によるキャッシュ・フロー	273,518	1,870,045
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	145,227	1,885,684
現金及び現金同等物の期首残高	308,403	453,631
現金及び現金同等物の期末残高	453,631	2,339,315

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、飲食事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり純資産額	126.01円	912.38円
1株当たり当期純利益金額	69.67円	126.24円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	－円	119.52円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、前事業年度については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。当事業年度については、当社は2019年3月28日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、新規上場日から当事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 当社は2018年5月2日付で普通株式1株につき100株、2018年11月20日付で普通株式1株につき60株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	112,043	218,774
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益(千円)	112,043	218,774
普通株式の期中平均株式数(株)	1,608,000	1,732,942
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	97,449
(うち新株予約権(株))	－	(97,449)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数1,824個)	－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。